



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月4日

上場会社名 クリナップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7955 URL <http://cleanup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹内 宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 川田 和弘

TEL 03-3894-4771

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	76,808	6.9	2,309	26.4	2,412	24.8	1,502	28.1
2020年3月期第3四半期	82,472	5.6	3,138		3,206		2,089	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,836百万円 (19.2%) 2020年3月期第3四半期 2,273百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	40.72	
2020年3月期第3四半期	56.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	85,575	51,996	60.8	1,409.46
2020年3月期	80,106	50,898	63.5	1,379.67

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 51,996百万円 2020年3月期 50,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		10.00		10.00	20.00
2021年3月期		10.00			
2021年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	4.2	700	72.0	800	68.6	400	72.7	10.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	37,442,374 株	2020年3月期	37,442,374 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	551,034 株	2020年3月期	550,930 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	36,891,424 株	2020年3月期3Q	36,665,678 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年3月期3Q 225,867株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策により一時持ち直しの動きを見せましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大により収束が見通せず、先行き不透明な状況が続いております。

住宅設備機器業界におきましては、新設住宅着工戸数が低水準で推移したものの、巣ごもり需要の影響もあり、リフォーム市場が回復の兆しを見せはじめました。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社をいう。以下同じ。）は、2020年9月にリニューアルしたシステムキッチン「STEDIA（ステディア）」や2020年6月にリニューアルしたコンパクトキッチン「コルティ」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点である全国102ヶ所のショールームにおいて、事前来場予約促進と感染防止策の徹底により、お客様が安心・安全に最新の商品を体感できるようにしております。さらに、WEBコンテンツ「オンラインショールーム」の拡充を図り、インターネットを活用した情報発信も展開してまいりました。

また、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店等の流通パートナーと連携して『イエナカ充実フェア』等の各種イベントを開催し、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、東西の生産拠点での生産性向上、VE活動を推進し、原価低減に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高を部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「CENTRO（セントロ）」は数量、金額とも減、「STEDIA（ステディア）」は数量、金額とも減、「ラクエラ」は数量、金額とも減となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比6.5%減の60,171百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも減、「ユアシス」は数量、金額とも減、洗面化粧台においては数量、金額とも増となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比9.4%減の11,469百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.9%減の76,808百万円となりました。利益面では営業利益は同26.4%減の2,309百万円、経常利益は同24.8%減の2,412百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同28.1%減の1,502百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は85,575百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,469百万円増加いたしました。流動資産は54,937百万円となり、6,027百万円増加いたしました。これは現金及び預金が2,038百万円、受取手形及び売掛金が926百万円、電子記録債権が1,838百万円、商品及び製品が1,143百万円増加したこと等によります。固定資産は30,638百万円となり、558百万円減少いたしました。これは投資その他の資産が332百万円増加した一方、有形固定資産が740百万円、無形固定資産が150百万円減少したことによります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は33,579百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,370百万円の増加となりました。流動負債は26,377百万円となり、2,592百万円増加いたしました。これは買掛金が814百万円、短期借入金が922百万円、未払金が450百万円増加したこと等によります。固定負債は7,201百万円となり、1,777百万円増加いたしました。これは長期借入金が2,132百万円増加した一方、退職給付に係る負債が281百万円減少したこと等によります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は51,996百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,098百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益1,502百万円、配当金の支払737百万円、その他有価証券評価差額金の増加401百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の63.5%から60.8%になりました。

(キャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,038百万円（10.2%）増加して22,100百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は1,011百万円（前年同期比77.3%減）となりました。これは減価償却費が2,376百万円、仕入債務の増加997百万円、未払金の増加516百万円があった一方、賞与引金の減少799百万円、売上債権の増加1,866百万円、たな卸資産の増加1,358百万円、新型コロナウイルス感染症による損失の支払額264百万円、法人税等の支払額479百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は1,158百万円(前年同期比26.5%減)となりました。これは生産設備の改修、ショールーム移転・改装等により有形固定資産の取得による支出が584百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が568百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、財務活動の結果得られた資金は2,188百万円(前年同期は1,377百万円の使用)となりました。これは短期借入金の純減が500百万円、長期借入金の返済による支出が2,445百万円、配当金の支払が737百万円あった一方、長期借入れによる収入6,000百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束は不透明で、緊急事態宣言の延長方針もあり経済活動の停滞や個人消費の落ち込みがしばらく続く可能性があります。

住宅設備機器業界におきましては、新設住宅着工戸数における持家の持ち直しや、リフォーム市場の活性化に期待が集まるものの、依然として慎重な対応が必要な状況となっております。

このような中、当社グループはお客様、お取引先、従業員及びその家族の安全を最優先とし、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めるため、ショールームにおける徹底した感染予防や、社員の働き方改革を推進いたします。また、多様な顧客接点に対応するため、WEBコンテンツ「オンラインショールーム」の一層の充実を図りつつ、今後も状況変化に対応した営業活動に努めてまいります。

以上により、業績は計画の範囲内で進捗しておりますが、感染拡大により事業環境等が変化する可能性があり、現時点での通期の連結業績予想につきましては、2020年8月6日に公表いたしました数値に変更はありません。今後、業績予想の修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,561	21,600
受取手形及び売掛金	13,543	14,470
電子記録債権	11,100	12,939
有価証券	1,003	1,002
商品及び製品	1,481	2,625
仕掛品	149	190
原材料及び貯蔵品	1,052	1,096
その他	1,018	1,012
流動資産合計	48,909	54,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,970	7,651
その他(純額)	12,655	12,233
有形固定資産合計	20,625	19,885
無形固定資産		
投資その他の資産	2,785	2,635
投資有価証券	4,898	5,440
その他	3,007	2,796
貸倒引当金	△119	△118
投資その他の資産合計	7,786	8,118
固定資産合計	31,197	30,638
資産合計	80,106	85,575

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,868	6,683
電子記録債務	6,642	6,825
短期借入金	3,683	4,606
未払金	4,070	4,521
未払法人税等	497	682
賞与引当金	1,117	317
資産除去債務	—	9
その他	1,904	2,731
流動負債合計	23,784	26,377
固定負債		
長期借入金	695	2,827
退職給付に係る負債	709	427
役員退職慰労引当金	416	416
資産除去債務	408	400
その他	3,193	3,128
固定負債合計	5,423	7,201
負債合計	29,208	33,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	24,561	25,325
自己株式	△419	△419
株主資本合計	49,760	50,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,322	1,723
為替換算調整勘定	△21	△25
退職給付に係る調整累計額	△164	△226
その他の包括利益累計額合計	1,137	1,471
純資産合計	50,898	51,996
負債純資産合計	80,106	85,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	82,472	76,808
売上原価	53,508	50,212
売上総利益	28,964	26,595
販売費及び一般管理費	25,825	24,286
営業利益	3,138	2,309
営業外収益		
受取利息	16	15
受取配当金	117	108
仕入割引	210	192
その他	111	109
営業外収益合計	456	425
営業外費用		
支払利息	19	22
売上割引	325	272
その他	43	27
営業外費用合計	388	322
経常利益	3,206	2,412
特別利益		
固定資産売却益	0	0
雇用調整助成金	—	135
補助金収入	—	8
特別利益合計	0	144
特別損失		
固定資産除売却損	24	32
投資有価証券評価損	0	—
退職特別加算金	4	—
減損損失	98	14
新型コロナウイルス感染症による損失	—	264
特別損失合計	127	311
税金等調整前四半期純利益	3,079	2,245
法人税等	990	743
四半期純利益	2,089	1,502
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,089	1,502

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,089	1,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	330	401
為替換算調整勘定	△43	△4
退職給付に係る調整額	△103	△61
その他の包括利益合計	183	334
四半期包括利益	2,273	1,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,273	1,836
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,079	2,245
減価償却費	2,420	2,376
雇用調整助成金	—	△135
新型コロナウイルス感染症による損失	—	264
補助金収入	—	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△838	△799
売上債権の増減額 (△は増加)	336	△1,866
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,775	△1,358
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,239	997
未払金の増減額 (△は減少)	117	516
その他	△52	△719
小計	4,528	1,512
利息及び配当金の受取額	134	123
利息の支払額	△19	△25
雇用調整助成金の受取額	—	132
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	—	△264
補助金の受取額	—	8
法人税等の支払額	△245	△479
法人税等の還付額	52	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,449	1,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,064	△584
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△489	△568
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
その他	△18	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,574	△1,158
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,000	△500
長期借入れによる収入	—	6,000
長期借入金の返済による支出	△2,513	△2,445
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△737	△737
その他	△125	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,377	2,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,462	2,038
現金及び現金同等物の期首残高	17,182	20,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,644	22,100

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方)

新型コロナウイルス感染症の影響については、段階的に縮小しつつ2021年3月期末までは継続するものとの仮定に基づき、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

なお、当該見積りは現時点で入手可能な情報等を踏まえたものであり、新型コロナウイルス感染流行の収束遅延により影響がさらに長期化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、翌連結会計年度以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

当社グループは、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。